

令和4年度 会派きぼう 視察研修

2022, 7, 13 ~ 7, 15

「本とアートで、いま日本で一番
変化する温泉街の取り組み」について

兵庫県豊岡市：R4.7.13 14:00~16:40

▶ 【目的】

1. 歴史ある城崎温泉の継承、文芸館やアートセンターなど、特色ある温泉街の取り組みについて
2. 豊岡市や一般社団法人豊岡観光イノベーション、城崎温泉観光協会、団体等との連携手法、支援方法について
3. 今後の方向性について

城崎国際アートセンター



アートセンターの役割

2014年～

アーティスト達の長期滞在型の創作稽古を支援
体験教室の開催、公開稽古を行い、地域への還元を行う
地域外で作品発表する際は豊岡の著作権マークを入れる
豊岡の情報が世間へ広がる

2019年

「演劇」×「まちづくり」＝豊岡演劇祭開催（第1回2020年）

2021年

専門職大学制度 「芸術文化観光専門職大学」4年制にて開学



文化イベントをまちづくりに直結させることで

「自分たちの力でまちづくりをプロデュースできるまち」⁴になった。

▶ 「小さな世界都市」を打ち出し「大交流課」を設置

- ・ 人口減少への対応、交流人口の拡大を目的として「大交流」
- ・ 潜在能力は高いが、パンフレット等で魅力が伝わってこない
- ・ 都市部の人間から見てお洒落じゃない
- ・ 発信力が弱い
- ・ 「地方で暮らす価値」のアップデートを検討
- ・ 規模は小さくともローカルの魅力を徹底的に磨き上げる
- ・ 地域固有の財産をもって国際社会と結びつく

大交流課参与 田口幹弥さん



城崎温泉

志賀直哉・歴史と文学のまち・木造3階建の旅館・柳並木・浴衣の似合うまち・外湯のまち



歌舞伎座を思わせる建物が特徴的な
「一の湯」



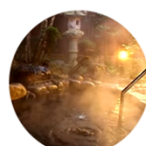
恋愛成就の湯に女性客殺到
「御所の湯」



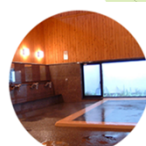
城崎温泉発祥の地
「まんだら湯」



玄武洞をイメージした六角窓の
「地蔵湯」



羽を広げたコウノトリの姿にも見える
「鴻の湯」



小さいながら風情は抜群
「柳湯」



電車の待ち時間に立ち寄れる
「さとの湯」

城崎温泉の取り組み

- 湯治場としての形態を保持
(高度成長期以降の大規模宿泊施設化に参入せず)
- 内湯を制限し外湯を利用等 (城崎温泉全てが一つの温泉旅館)
- それぞれに特徴を持った7つの外湯がある
(地蔵の湯・さとの湯・柳湯・一の湯・まんだら湯・鴻の湯・御所の湯)
- 多くの旅館が世代交代により40～50代の若い経営者へ
(古き時代、湯治場にあった「貸本制度」を復活「文学」と触れる機会を増やす等)
- 現地でしか入手できない特徴的な特別書籍を作る

「みんなで商売が成り立つ温泉街」「共有財産としての温泉」

今後の飯田市に生かせること等

1. 「地域を語れる人、つくっていける人」を育てること
2. 大学誘致においては、飯田ならではの専門職大学構想も一考
3. 飯田の文化芸術を再認識し、その魅力の発信力、デザイン力が大切
4. そこでしか味わうことができない文化・観光が魅力になる



「新エネルギー開発神戸水素CGS エネルギーセンター」について

兵庫県神戸市：R4.7.14 10:00～12:30

▶【目的】

1. 水素エネルギー発電事業に係る取組みの概要について
2. グリーンイノベーション基金事業の取組み状況について
3. 今後の方向性について

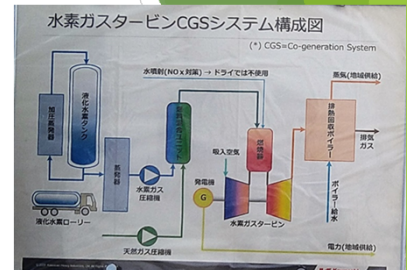
9

川崎重工業（株）の水素エネルギー 発電事業に係る取組み



実証内容

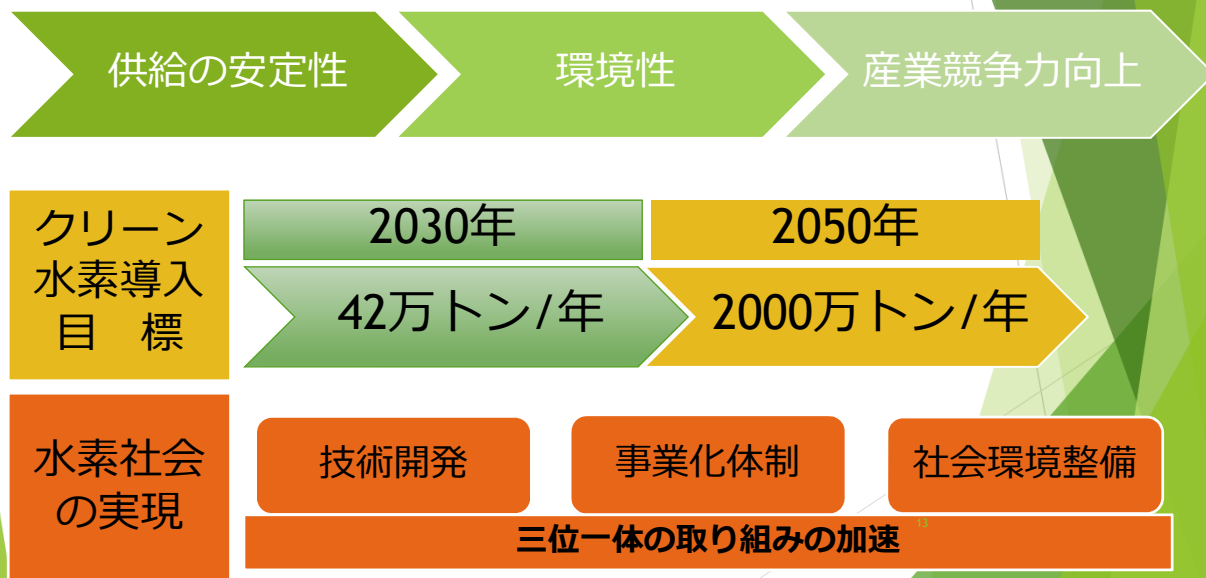
- ①原材料はオーストラリア産「**褐炭**」の利用
- ②大量輸送のための「**液化**」(気体の1/800の体積)
- **253℃**の極低温システム
- ③液化水素を大量に運搬する「**船**」の建造
- ④液化水素を安定的に移動と貯蔵を可能にした
「**二重殻真空断熱構造**」の技術革新
- ⑤水素ガスタービン・コージェネレーションシステム
(水素のみの**ドライ**燃焼器や天然ガス混合燃焼器)
の大型化
- ⑥エネルギーロスを防ぐために「**電気**」と「**熱**」
の双方を効率的に**地産地消**



水素炊きガスタービン発電装置



CO₂フリー水素チェーンによる脱炭素化の実現に向けて



水素荷役ターミナル基地施設



課題等

- ・法規制の適応化やインセンティブ付与の国策レベルの制度設計
- ・未利用資源の価格の安定化と調達量の安定確保
- ・多様な原材料の模索と研究
- ・立地(湾岸・内陸)における輸送コストや二次供給基地の設置によるコスト差
- ・地産地消には、発電容量に合った発電機の開発と施設の適地場所

今後の飯田市に生かせること等

- ▶ リニア関連事業の中に「飯田版ZEHモデル地域」や「再生可能エネルギー利用モデル地域」等、効率の良いエネルギー循環とは、自分たちの地域で地産地消できるエネルギー源を研究する事

15

「神戸市人と猫との共生推進協議会の取り組み」について 兵庫県神戸市：R4.7.15 9：45～11：30

▶ 【目的】

1. 兵庫県神戸市で平成29年に施行された「神戸市人と猫との共生に関する条例」に基づき設立された「神戸市人と猫との共生推進協議会」の取り組みを学び、飯田市の参考としたい。
2. 野良猫をこれ以上増やさない取り組みや猫の譲渡などの事業について、調査研究を行った。



16

神戸市人と猫との共生推進協議会について

▶ 【構成団体等】 ※（ ）内は聞き取りメモ

- ア 公益社団法人 神戸市獣医師会（協議会事務局）
- イ 特定非営利活動法人 神戸猫ネット（猫の譲渡活動、捕獲機100個あり）
- ウ 公益社団法人 日本動物福祉協会
- エ 公益社団法人 Knots（しあわせの村「こうべ動物共生センター」委託業者）（しつけ方）
- オ 株式会社 フェリシモ（猫グッズ、通信販売）
- カ ネスレ日本 株式会社（ペットフーズ、猫の譲渡活動・バス出張サービス）
- キ あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社（飼えなくなった時の保険を現在検討中）
- ク 神戸市自治会連絡協議会
- ケ 神戸市婦人団体協議会
- コ 神戸市商店街連合会
- サ 株式会社 神戸新聞社

17

【市と連携して実施する事業】

- ア 地域猫活動への支援制度と連携した野良猫の繁殖制限
- イ 野良猫への給餌及びふん尿の処理に関する指導及び助言
- ウ 猫の譲渡の推進に関する事業
- エ その他、協議会が必要と認める事業

【事業の進捗状況】

ア 殺処分の削減

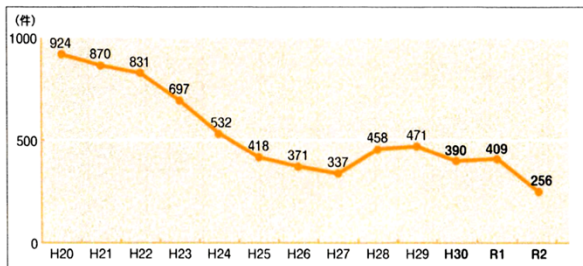
・野良猫の繁殖制限事業の状況

協議会において野良猫の生息情報や苦情状況など検討したうえで、繁殖制限が必要な区域を選定して実施。

令和3年度は、164地域を選定、継続的な支援を214地域に行い、合計2,117匹の野良猫に不妊手術をした。

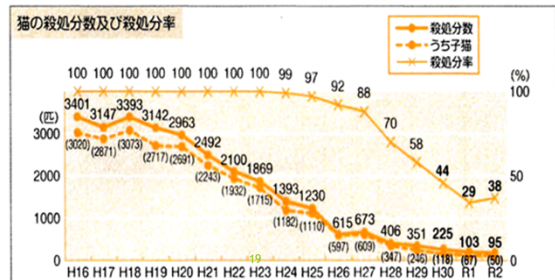
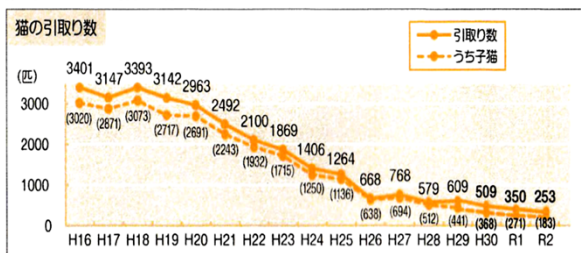
18

※1 神戸市における猫の苦情数



年度	引取・収容数	譲渡数	殺処分数	殺処分率
H25	1,264	29	1,230	97%
H26	668	53	615	92%
H27	768	91	673	88%
H28	579	161	406	70%
H29	609	237	351	58%
H30	509	298	225	44%
R1	350	237	103	29%
R2	253	181	95	38%
R3	171	101	62	36%

※3 神戸市における猫の引取り・殺処分数



イ 野良猫の適正管理

- ・ ガイドラインの周知
- ・ 「地域猫活動」の推進

【猫の譲渡の推進】

こうべ動物共生センター

令和3年10月に北区のしあわせの村にオープン
令和3年度末時点で約8,500人が来場している

ア わんにゃん譲渡見学会

イ 協議会主催の猫の譲渡会

ウ インスタグラムでの情報発信



【神戸市人と猫との共生推進協議会の年予算】

総額：約1,700万円の予算規模

支出：不妊手術費用がほとんど。

（手術費用：オス・メス関係なく 1 匹8,000円、全額補助）

収入：補助金＝神戸市から約1,300万円（＋別に事務局人件費900万円）

収入：募金・寄附＝約300万円

（R3年度：フェリシモ基金500万円＋あいおいニッセイ同和損保ほか約80万円＝580万円）

補助金：2千200万円＝約1,300万円＋人件費900万円

神戸市令和2年度決算額：1兆434億2千万円

21

課題や今後飯田市に活かせること等

- ・協議会および市と保健所(県)で事業を協働し取り組めるかが課題
- ・繁殖制限が必要な区域を選定し、事業に取り組む
- ・不妊手術を受け入れる病院および協力団体の拡大
- ・飼い猫と地域猫および野良猫に対するルールの徹底
（野良猫に対する餌やり・糞尿等に関する助言、猫の飼い方教室、譲渡会の情報提供など）
- ・繁殖制限の必要性和補助金活用の周知
（手術費用：オス・メス関係なく 1 匹2,500円、一部補助）
地域猫活動の組み立て、補助金の拡大など

＊これを参考とし、会派所属 福澤克憲 議員が一般質問を行った。

